

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	27002	東海道街道環境整備事業(布気小野線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計
	基本施策	05:景観づくりの推進	務	款
	施策の方向	03:景観に配慮した公共空間の整備	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	03:道路新設改良費
事業予定期間	H 27 ~ H 29 年度 主な根拠法令要綱等 歴史まちづくり法、景観法、亀山市歴史的風致維持向上計画			

② 目的・概要	対象	市民、来訪者
	目的	亀山市歴史的風致維持向上計画に基づき、旧東海道の一部である太岡寺駅(市道布気小野線)における、街道環境の整備を行う。
概要	旧東海道の一部である太岡寺駅(市道布気小野線)の歩道整備や美装化、植樹等を行うことで、良好な街道環境の形成に向けた道路整備を行う。整備後の維持管理については、国・地元との協定により管理を行う。 計画延長 L=800m 歩道幅員 2.5m (根切りシート 1,000㎡、掘削・埋戻し 1,400㎡、張りコンクリートB700 法尻工留工 500m)	

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	事業費	22,000千円	24,400千円
		国庫支出金	12,100千円	13,420千円
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	9,900千円	10,980千円	
	予算額	事業費	16,892千円	5,000千円
		国庫支出金	9,291千円	2,750千円
		県支出金		
		地方債		
その他				
一般財源	7,601千円	2,250千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		46,400千円	期間外事業費(H29以降)②	6,100千円
		総事業費 (①+②)		52,500千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
①	名称	整備進捗率	活動	計画値	42	88	100
	補足	実施済み事業費/総事業費		単位	%	%	%
②	名称	地元施工	活動	計画値		10	67
	補足	植栽(桜、松)の数量		単位		本	本
③	名称			計画値			
	補足			単位			
④	名称			計画値			
	補足			単位			

事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	27002	東海道街道環境整備事業(布気小野線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財務科目	01:一般会計
	基本施策	05:景観づくりの推進	08:土木費	
	施策の方向	03:景観に配慮した公共空間の整備	02:道路橋梁費	
戦略プロジェクト	-	03:道路新設改良費		

② 目的・概要	対象	市民、来訪者
	目的	亀山市歴史的風致維持向上計画に基づき、旧東海道の一部である太岡寺駅(市道布気小野線)における、街道環境の整備を行う。
	概要	旧東海道の一部である太岡寺駅(市道布気小野線)の歩道整備や美装化、植樹等を行うことで、良好な街道環境の形成に向けた道路整備を行う。整備後の維持管理については、国・地元との協定により管理を行う。 計画延長 L=800m 歩道幅員 2.5m (根切りシート 1,000㎡、掘削・埋戻し 1,400㎡、張りコンクリートB700 法尻工留工 500m)

		27年度	28年度
①	名称 整備進捗率	計画値 42	88
	補足 実施済み事業費/総事業費	実績値 32	
		単位 %	%
②	名称 地元施工	計画値	10
	補足 植栽(桜、松)の数量	実績値 10	
		単位	本
③	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
・河川協議(国、県) ・工事				・河川協議(国、県) ・法面工事 延長=230m				
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	303	平均給与額×③	
		事業費	22,000	22,492	13,395	一般職員人件費 ②		303
		国庫支出金	12,100	9,291	7,367	所要人員 ③		0.04
		県支出金		0		臨時職員人件費 ④		0
		地方債		0		受益者負担額 ⑤		⑤ / ⑥
		その他		0		受益者負担率	0.0%	
		一般財源	9,900	13,201	6,028			
		再	翌年度への繰越額		3,200			
		掲	前年度からの繰越額		5,600	5,543		
			総人件費	①	303			
	総コスト	⑥	13,698					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	国との調整も順調に進み、施工区分の合意形成が図られ、延長230mの法面工事を完成することが出来た。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	整備促進を図っていきたいが、国の財政状況が厳しく財源確保に苦慮している。	
	【改善の方向性】	財源の確保については、国の制度改正等、情報をいち早く収集し、国への要望強化に努めていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳